

二二二八番

あきかせ 秋風に 大和へ越ゆる 雁がねは いや遠ざかる  
くもがく 雲隠りつつ

二二二九番

あ 明け暗の 朝霧隠り 鳴きて行く 雁は我が恋  
いも 妹に告げこそ